

講演会開催趣旨

当協会は、先端加工機械技術に関する研究開発の助成、技術動向の調査研究、調査研究成果の普及等を目的として昭和55年に設立され、本年で34年目を迎えた財団法人です。

我が国のものづくり技術は世界最高レベルを維持しておりますが、今世紀の持続的経済発展を支える先進的で高度なものづくりを実現するためには、基盤技術である先端的加工機械およびその利用技術のさらなる進歩発展とともに、新規性・独創性の高い新加工技術への挑戦が必須であります。

そこで今回の講演会では、単なる形状創成から機能創成を加味した新しいものづくり技術として、高速に加速した固体粒子を工作物に衝突させ、その衝撃力により材料の除去・表面改質・付着等を行う噴射加工(blasting)に注目し、その新しい潮流、最新技術、加工例等を5名の講師の方々から幅広く紹介していただくことにしました。本技術は常温成形・集積化を低コストで可能にするもので、絶縁膜や誘電膜、2次電池負極用シリコン厚膜、表面改質膜等の新機能複合材料の創成など、広範囲な応用展開が期待されています。

講演会ではこれまでと同様に規模を大きくせず、参加者が講師とじっくり充実した質疑応答ができるようにするつもりです。各分野のものづくり技術にご関心のある多数の方々のご参加をお待ちしております。

後援団体：(独)産業技術総合研究所、(一財)素形材センター、日本工業大学

(順不同)

協賛団体：(公社)精密工学会、(公社)砥粒加工学会、(一社)日本機械学会、(公社)日本金属学会
(一社)日本ファインセラミックス協会、(一社)日本溶射学会
(一財)製造科学技術センター、(一財)マイクロマシンセンター

(順不同)

先端加工技術講演会

「応用が拡大する微粒子噴射加工技術の最前線」

プログラム (平成26年3月14日 金曜日) <予定>

13:00~13:05 「開会挨拶」

財団法人 先端加工機械技術振興協会 専務理事 松野 建一

13:05~13:35 「新世代噴射技術が拓く機能性インタフェース」

東北大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻 教授 厨川 常元

13:35~14:20 「コールドスプレー法の最新動向」

東北大学大学院 工学研究科 エネルギー安全科学国際研究センター 教授 小川 和洋

14:20~15:05 「FCM(Flash Creation Method)を利用した機能性微粒子の創成」

ホソカワミクロン株式会社 粉体工学研究所 フェロー 横山 豊和

15:05~15:20 休憩

15:20~16:05 「PJD(Powder Jet Deposition)法を応用した革新的歯科治療法」

株式会社サンギ 歯科材料事業本部 部長 石崎 勉

16:05~16:50 「微粒子投射法によるアルミニウム合金へのDLC(Diamond-like Carbon)被膜」

株式会社不二WPC 技術部 部長 熊谷 正夫

16:50~17:00 「閉会挨拶」

財団法人 先端加工機械技術振興協会 専務理事 松野 建一

申込方法

裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、メール等で下記宛お申し込み下さい。お申し込み確認後、折り返し受理をご連絡いたします。(参加証は発行致しません。)

参加費：一般：7,000円、後援・協賛団体関係者：5,000円、当協会賛助会員：3,000円、学生：2,000円

定員：45名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

申込先：財団法人 先端加工機械技術振興協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-29 虎ノ門産業ビル

電話：03-3501-6701 FAX：03-3503-9697

E-Mail：info@amtda.or.jp

URL：http://www.amtda.or.jp

送金方法：下記銀行振込みでお願いします。(振込手数料は、振込人のご負担下さい。)

銀行名：三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店

口座番号：普通 269900

口座名：財団法人 先端加工機械技術振興協会